

冬ギフト2022受付開始！

今年もお歳暮ギフトの受付を開始しました！昨冬大人気だった庄原産ジビエと旬野菜、高野味噌が入った「ぼたん鍋セット」や「庄原ごはんの友（香茸塩漬入り）」、「高野りんごスイーツセット」、テレビで谷繁元信さん（元中日ドラゴンズ監督）が大絶賛していた東城町の名越製麺さんのラーメンと蕎麦のセット、和泉光和堂さんからは、庄原産小麦を使用した焼き菓子のセットなど新商品もラインアップに追加しました！

また、今回からオンラインショップでもギフトのご注文が可能になりました。店頭では「なみか」もご利用可能ですので、遠方のご家族やお知り合いへのお歳暮に是非ご利用下さいね♪

道の駅たかの 2022.11.4

（広報・企画グループ）
庄原市高野町下門田49

☎0824-86-3131

michieki_tak@takanoyama.jp

<https://www.takanoyama.jp>

★Twitter・インスタも更新中♪



高野町産ブルーベリーで祝う！サンフレ、ルヴァンカップ優勝🏆

10月22日（土）に国立競技場で行われたJリーグカップ（YBCルヴァンカップ）決勝で、サンフレッチェ広島がセレッソ大阪を後半アディショナルタイムからの2得点で劇的大逆転の末2-1で下し悲願の初優勝。ファンは大いに盛り上がり、広島市内でも百貨店などで優勝セールが開催され、お祝いムード一色となりました♪

そごう広島店では、サンフレッチェのチームカラーである紫色にちなんで「飲むブルーベリージュレ」が先着320（サンフレ）名に配布されました。なんとこのジュレ、瀬尾商店さんが製造する高野町産のブルーベリーを使用したもの。そごうの担当者さんが優勝セールを開催するにあたり、来店客へのプレゼントを選ぶ際、毎年2回本館5階の婦人服売り場で開催されている「道の駅マルシェ」でこのジュレを販売していたことから、この商品が選ばれ、お声掛けをいただきました。配布当日は、そごう広島店本館隣の郵便局まで列が届くほどの大人気。多くの皆様に高野の商品を味わっていただくことが出来ました。テレビでも紹介され、子供さんが嬉しそうにジュレを持っている姿を見て、とても嬉しくなりました♪お忙しい中、急ピッチで製造していただいた瀬尾商店さん、ありがとうございました！



飲むブルーベリージュレ



ジュレ配布の様子（10月23日(日)）

出荷者さん紹介ボタン②9 多々野 昭三さん(高野町下門田)

道の駅たかののがオープンする時に入会。これまでに大根やキャベツ、生姜、長芋、白菜、ウド、ニンニク、むかご等を出荷しました。今の時期は長芋を出荷しています。長芋といっても「とっくり芋」という長芋の一種で、地中深くになるにつれて太さが増し、それが徳利（とっくり）に形が似ている所からその名が付けられたと言われています。

栽培は、パイプや波板等を使用する事が多いですが、私は自己流で栽培していて、機械を使わず、スコップで1本ずつ収穫しています。長い物になると1mを超す長さになるため、丁寧に傷を付けないように掘っています。

とっくり芋は長芋と自然薯の間で、クセやアクも少なく食べやすいのが特徴です。色々なレシピがありますが、私のお勧めの食べ方はシンプルです。皮をむいてすりおろします。それからめんつゆと混ぜあわせてご飯にかけ、お好みで卵黄やネギ、刻みのりをかけるとより一層美味しく食べる事ができます。また、お好み焼きにしてもひと味違った楽しみ方ができます。

むかごも栽培していますが「むかごができるとう芋がつまらん」と言われており、理由として、むかごが沢山出来てしまうと、芋の肥大に悪影響があり、むかごが出来すぎないように管理をするという事なのですが、実際はそうとは限らず、むかごができないと長芋も思ったように収穫できませんでした。常に変化をする自然環境相手に、常識や答えはないと痛感しました。



スコップで慎重に掘りながら丁寧に収穫。

多々野 昭三さん

逆に今年はスイカが例年以上に上出来で、大きいもので15kgもありました。スイカは収穫して切ってみないとわからない為、道の駅で買い取ってカットスイカとして、販売してもらいました。桃も、たかのキッチンでジェラートの材料にしてもらいました。試食をさせてもらいましたが大変美味しく、使ってもらってありがたかったというのがありますが、加工する事で別のものに生まれ変わるという面白さも体験させてもらいました。

道の駅もオープンから9年、お客様の需要は変わっています。我々出荷者も消費者に合わせた販売方法について勉強し、自分の価値観・感覚だけにとらわれず、多様性を発展させていくことが必要です。些細な事ですが、以前は丸々1本の状態で出荷をしていましたが、売れ行きの変化を感じ、最近は2分の1にカットした状態でも出荷をしています。お客様に良いものを提供したい為、中途半端な状態では決して出荷しません。それだけに良いものが出来ると嬉しいし、それ以外は苦勞に感じる事が多いです。道の駅たかののは立地も良く、高齢の出荷者の助けになっています。少量でも出荷ができるため、無理のない範囲で続けられる。私も無理をせず続けていきたいと思っています。